

みなさん、こんにちは。
七月といえば・・・そう夏休み！！
ということ、夏休み特集号です。
暑い季節に県立文化施設に足を運んでみませんか？

この夏は、背中がゾッと涼しくなるような企画もあるのでよ・・・☆

県立美術館、博物館、考古博物館、文学館

小・中学生のみなさん、



夏休みスタンプラリーが始まります！

七月十九日（土）から八月三十一日（日）まで、県立美術館・博物館・考古博物館・文学館の四館で、小・中学生を対象に、夏休みスタンプラリーを開催します。

学校を通じて、このスタンプラリーに参加できるスタンプブックをお届けしています。

四館のスタンプを全て集めて、すてきなプレゼントをゲットしよう！！

なお、スタンプラリーは四館のみで行います。

図書館と科学館では行いませんので、ご注意ください。

また、県立美術館・博物館・考古博物館・文学館の四館では、小・中・高・特別支援学校生はいつでも無料で入館できます。



夏休みスタンプラリースタンプブック

夏休みには楽しい展示会やイベントがたくさん用意されていますので、みなさんで遊びに来てくださいね。

夏休み自由研究プロジェクト



多くの学校で夏休みの宿題になる自由研究。

お子さんと一緒に悩まれるお父さん、お母さんも多いのでは？

でも、大丈夫！山梨県立博物館では、

ミュージアム甲斐・ネットワークの活動の一環として、毎年、海の日に「夏休み自由研究プロジェクト」と題して、夏休みの自由研究や工作のお手伝いを行っています。

「ミュージアム甲斐・ネットワーク」

とは、山梨県内の百十二館の博物館や美術館等が一緒に集まって、みんなが楽しめるイベントの開催やPR活動などに取り組んでいる仲間たちです。そんな、ネットワーク事業の一環として行うのが、「夏休み自由研究プロジェクト」です。



「夏休み自由研究プロジェクト」体験イベント：昨年度の様子

ここでは、夏休みの子どもたちに対して、イベントでのプレゼン（各館毎にブースを設け、体験的なイベントやミブックスの配布）を通して自由研究のヒントを提供いたします。

また、「夏休み自由研究なんでも質問箱」として、夏休み期間中、自由研究に関する質問を受け付け、調べ方やヒントをお答えいたします。

いつも、夏休みの宿題で悩んでいるお友達、やりたい研究がきつとみつか

るよ。
日時 七月二十一日（月・海の日）
午後一時三十分から四時三十分まで
会場 アイメッセ山梨
甲府市大津町二一九二・八

県立博物館

福岡市博物館所蔵

「幽霊・妖怪画大全集」



この夏、博物館がお化け屋敷になる！毎年、夏になると語られる怪談ばなしやイベントで催される肝試し。「怖い」と思いながら覗いてみたくなる「幽霊・妖怪」の世界。

でも、怖いだけじゃありません。日本の幽霊・妖怪は、美しい幽霊もいれば、ひょうきん者、あるいはなんとも愛らしい妖怪もいます。

幽霊・妖怪画は日本独自のジャンルであり現代のマンガやアニメ、映画にも大きな影響を与えたといえるでしょう。

県立博物館では、そんな個性派ぞろいの幽霊・妖怪たちの絵を集めた企画展を行います。



伝 円山応挙「幽霊図」(部分)

また、関連イベントとして、落語家による「怪談噺」や「イブニングギヤラリートーク」、選ばれた幽霊・妖怪の人気投票「YKI総選挙」など、親子揃って楽しめるイベントが目白押し。ぜひ、この機会に、日本が生んだ、美

と恐怖とユーモアに満ちあふれた世界をお楽しみください。

開催期間は、七月十九日（土）から九月八日（月）までです。



英北斎 春江 春「百物語 お岩」

県立文学館

「本のおしゃれ」



本は、「読むもの」と思っていますか？

本は、見て楽しんでいいんです。中身はよく覚えていないのに、「表紙が変わったデザイン」だったり、「さし絵がイメージ通り」だった本が、妙に印象に残っている経験が誰にでもあるはず...

特設展「本のおしゃれ」では、明治時代から昭和にかけて発行された本の中から、美しく彩られた本や、個性的なデザインの本を紹介いたします。

本はよく見ると、表紙だけでなく、見返し・口絵・さし絵など様々なところに装飾がほどこされています。明治時代に出された、夏目漱石の『吾輩は猫である』

『吾輩ハ猫デアル』は上・中・下と三冊に分かれています。三冊とも表紙の図柄が異なります。



夏目漱石「吾輩ハ猫デアル」下編

展示室には印刷された本だけでなく、表紙やさし絵のために描かれた原画や印刷直前の校正刷り（本番の印刷をする前に、チェックをするために印刷したもの）も展示します。

大正時代の終わりに刊行された、芥川龍之介の小説集『黄雀風』の表紙校正刷りには、もつと透明感のある黄色にするようにと指示が書かれています。

また、深沢七郎の『笛吹川』は、実際に使用された箱の原画とともに、採用されなかった原画も展示します。

思わず手にとりて、開いてみたくなる本の数々。是非見に来てください。期間中には「村岡花子と柳原白蓮」の特別コーナーもありますので、六月まで開催していた「村岡花子展」を見られなかった方のご来館もお待ちしています。

開催期間は、七月十九日（土）から八月二十四日（日）までです。



とりのあきこ 与謝野晶子『火の鳥』



あなたはおまじないと聞いて、どんなものを思い出しますか？
ちちんぷいぷい、いたいのいたいの飛んでゆけ！

誰でも子供の頃に、一度は言ってもらったことがあるのではないのでしょうか？

おまじないは特別なことではなく、今も昔も日常的に行っていたことでした。

特に、科学や医学が現在ほど発展していなかった頃には、人々は「おまじない」に様々な願いを真剣にこめていました。

遺跡を発掘していると、時々昔の人たちが想いをこめた祈りの姿が様々な形で見られます。

おまつりをした跡と考えられている場所からは、人や動物をかたどった土製品や、おままごとの道具のような小さな土器など、不思議な遺物が出土することがあります。

また学校で勉強する土偶も、安産や豊穰などを祈って使われたおまじない道具の一つです。

県立考古博物館では、そんな身近なおまじないの世界をテーマに企画展を開催します。



まつりをするようす

これもおまじないなの？？ なんて発見もあるかもしれません。

この夏は考古博物館で、目に見えない世界に託した日本人の「こころ」をのぞいてみませんか。

開催期間は、七月十九日(土)から八月三十一日(日)までです。

七月二十七日(日)には「おまじないの木簡作り」のイベントもあります。時間は午前十時から午後三時三十分まで、参加費は無料。

誰でも先着順で参加自由なので、ぜひ遊びに来てください。

県立美術館

「生誕二百年 ミレー展」

— 愛しきものたちへのまなざし —



ミレーは農民の労働の様子を見つめ、農民画の世界を生み出しました。

実際、県立美術館で人気のミレー作品は、「種をまく人」をはじめとする農民画です。

そこにはミレーの生まれ育った家庭環境や、バルビゾン村の豊かな自然があつたことが理由としてあげられます。

今回の展覧会では、所蔵作品だけでなく、初期から晩年までの作品や、家族の肖像や生活の情景を描いた作品に焦点をあてることで、緑豊かな自然の中で九人の子供を育てたミレーの、「愛しきものたちへのまなざし」を感じ取っていただけたらと思います。

ミレーの美術館として親しまれてきた山梨県立美術館は、多くの方に愛され昨年三十五周年を迎えました。

今年にはミレー生誕二百年を迎えます。本展ではこれを記念し、国内外のミレー作品約八十点によりミレーの新たな魅力を引き出します。

開催期間は、七月十九日(土)から八月三十一日(日)までです。



「子どもたちに食事を与える女(ついで)」
1860年 油彩・カンヴァス
リール美術館蔵
© RMN-Grand Palais / Jacques Quecq d'Henripret / distributed by AMF

七月二十六日(土)からは「みんなで作る美術館(みなび展)」が開催されます。

会場ではミレーをテーマにしたミニワークショップもやっています。

申し込みや参加費は必要ありません。県民ギャラリーCでお待ちしています。

県立図書館

「夏休み自由研究・工作おたすけ教室」



図書館は調べものに最適な場所です。そんな図書館を使って自由研究に取り組んでみませんか。

県立図書館では、夏休み自由研究・工作おたすけ教室を開催します。

学校の先生や専門家の人が、歴史や理科、自然、工作などの質問を個別に受け付け、アドバイスをします。

図書館の職員も、本を探すと手伝いをします。

「〇〇のことを調べたいのだけれど、この方法でいいのかな？」自分の工作はもっと面白くできないかな？」と思ったら、参加してください。

期間は、八月二十日(水)、二十一日(木)の二日間です。

午前の部は十時から十二時まで、午後の部は二時から四時までです。

会場は一階の交流ルーム102で、事前の申し込みは必要ありませんので、直接会場に来てください。

対象は小学校三年生から六年生までです。

詳しくは、ホームページやチラシをご覧ください。直接、県立図書館にお問い合わせください。



今年の相談の様子

県立科学館

「君は未来のメカニック」

発進！ロボットコロニー

Take off! Robot Colony



この夏、山梨県立科学館に様々な分野で進化したロボットたちが大集結します。

動いているロボットを見たり、操作したりすることで、ロボットと暮らす未来を想像することができる体験型企画展です。

会場では、タブレット端末を使い、隠されたキーワードを集めながら展示物の体験ができます。

期間は、七月十九日(土)から八月二十四日(日)まで。

時間は、午前九時三十分から午後六時まで(入館・入場は、五時三十分まで)。

事前の申し込みは必要ありませんので、直接、会場の多目的ホールに来てください。

費用は、大人二百円、三歳から高校生までは百円、三歳未満は無料です。

小学生以上は、入館料も別にかかりますので注意してください。

ロボットのショーや操縦体験の間は、県立科学館のホームページでお知らせします。



操縦体験のできるロボット「サイクロプス」

やまなし文化NOW第四号は、いかがでしたか。

夏休みは、お友達を誘って、県立文化施設に遊びに来てね。

今回は、やまなし県民文化祭のマスケットキャラクター「カルチャくん」に登場していただきます。

文化イベントの会場にも、遊びに来るようなので、見かけたら「カルチャくん！」って、大きな声で呼んであげてね。それでは第四号はこのへんでごきげんよう。さようなら。